

ノウルシ	<i>Euphorbia adenochlora</i> C. Morren et Decne.	絶滅危惧Ⅱ類
(環境省:準絶滅危惧)		トウダイグサ科
選定理由	生育地域が限られて個体数が少ない。	山崎玲子 
形態の特徴	高さは20-40cm。茎に長楕円形の葉が互生して付く。茎頂に5枚の葉が輪生して、その葉腋から枝が出て杯状花序を付ける。総苞葉は鮮やかな黄色が目立つ。花期は4-5月。	
生態的特徴	湿地や河川敷に生える。たまに河砂が運ばれて、意外な場所に生えることがある。	
分布状況	北海道、九州、四国などに分布する。岐阜県では美濃地方に分布する。	
減少要因	河川敷の開発などによる減少。	
保全対策	乾燥に弱いので乾燥しないように工夫する。	
特記事項	白い汁がつくとかぶれを引き起こす。	
参考文献		

文責:山崎玲子